

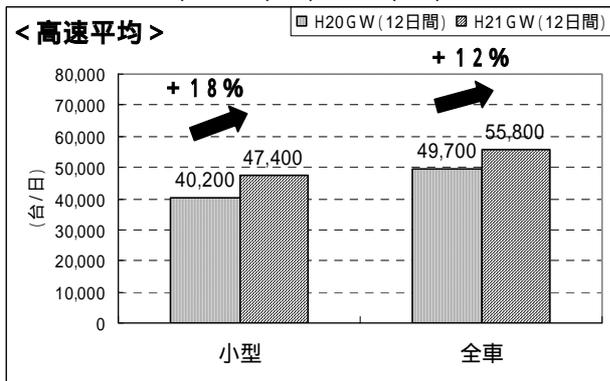
# 「ゴールデンウィーク時期」における交通状況について

ゴールデンウィーク時期における交通状況につきまして、今月7日に速報として報告させていただきましたが、このたび、分析を加えた結果を取り纏めましたので報告します。

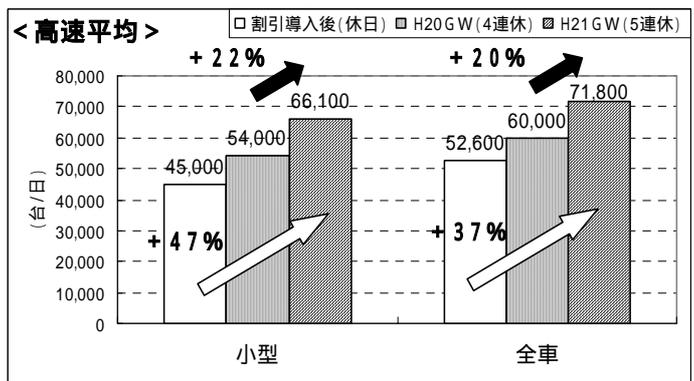
## (1) 交通量の状況

高速道路全体の断面交通量の平均を前年のGWと比較すると、期間全体(12日間)では小型で約18%、全車で約12%の増、後半の5連休は小型で約22%、全車で約20%の増であった。また割引導入後の休日平均と比較すると小型で約47%の増であった。

【期間全体(4/25(土)-5/6(日):12日間)】



【後半5連休(5/2(土)-5/6(水):5日間)】



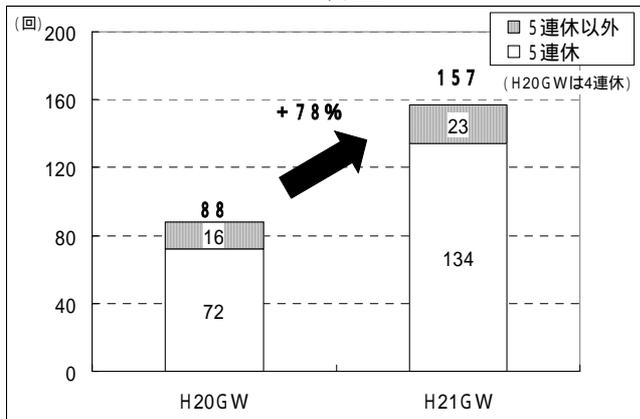
ETC車以外も含む全車種合計の断面交通量(トラフィックカウンター[道路に備え付けられている交通量(概数)の自動計測装置]による速報値) トラカンが設置されていない北陸道の2区間(立山~滑川、魚津~黒部)を除く高速道路の平均断面交通量

- < 期間全体 > 前年: H20.4.25(金)~5.6(火)の12日間の平均、今年: H21.4.25(土)~5.6(水)の12日間の平均
- < 後半5連休 > 前年: H20.5.3(土)~5.6(火)の4連休平均、今年: H21.5.2(土)~5.6(水)の5連休の平均  
割引導入後: H21.3.28(土)~3.29(日)、4.4(土)~4.5(日)、4.11(土)~4.12(日)、4.18(土)~4.19(日)の8日間の平均

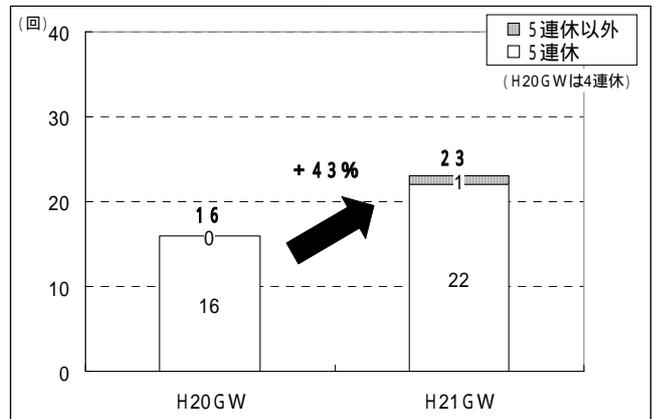
## (2) 交通混雑状況

渋滞が発生した回数を前年のGWと比較すると、10km以上の渋滞が約78%(+69回)の増、30km以上の渋滞が約43%(+7回)の増であった。

< 10km以上 >



< 30km以上 >



- < 5連休以外 > H20GW: H20.4.25(金)~5.2(金)の8日間の合計、H21GW: H21.4.25(土)~5.1(金)の7日間の合計
  - < 5連休 > H20GW: H20.5.3(土)~5.6(火)の4連休の合計、今年: H21.5.2(土)~5.6(水)の5連休の合計
- 10km以上の渋滞に30km以上の渋滞も含む

### (3) ETC利用率

今年のGW(5連休)のETC利用率は平均約82%であり、割引実施直前の3月休日平均と比較すると、約5ポイント利用率が増加した。

	H20GW	割引実施直前	H21GW
ETC利用率	67%	77%	82%

H20GW: H20.5.3(土)~5.6(火)の4連休の平均    H21GW: H21.5.2(土)~5.6(水)の5連休の平均  
 割引実施直前: H21.3.7(土)-3.8(日)、3.14(土)-3.15(日)、3.20(金・祝)-3.22(日)の7日間の平均

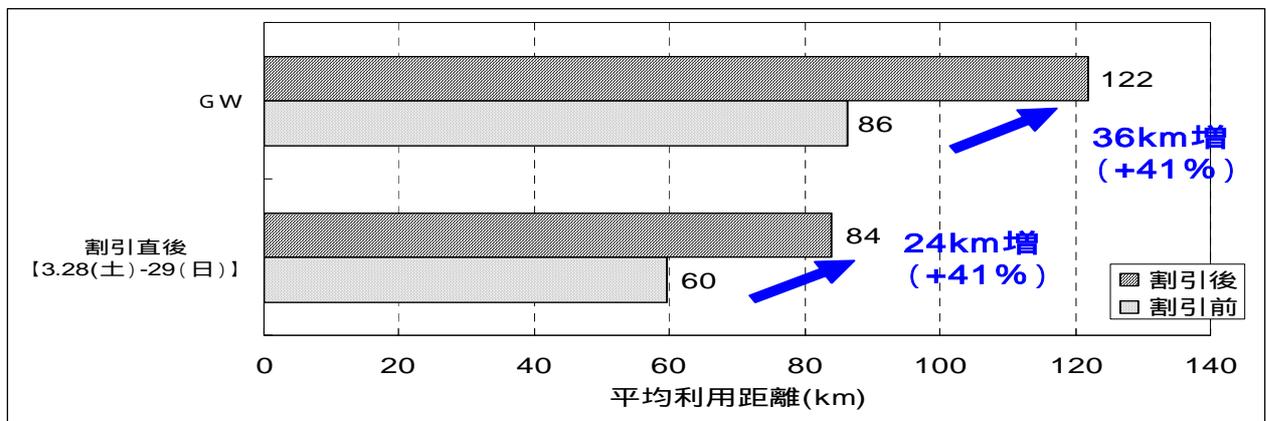
### (4) 休日特別割引による利用形態の変化

#### 東名 名古屋IC 出入交通の平均利用距離の変化

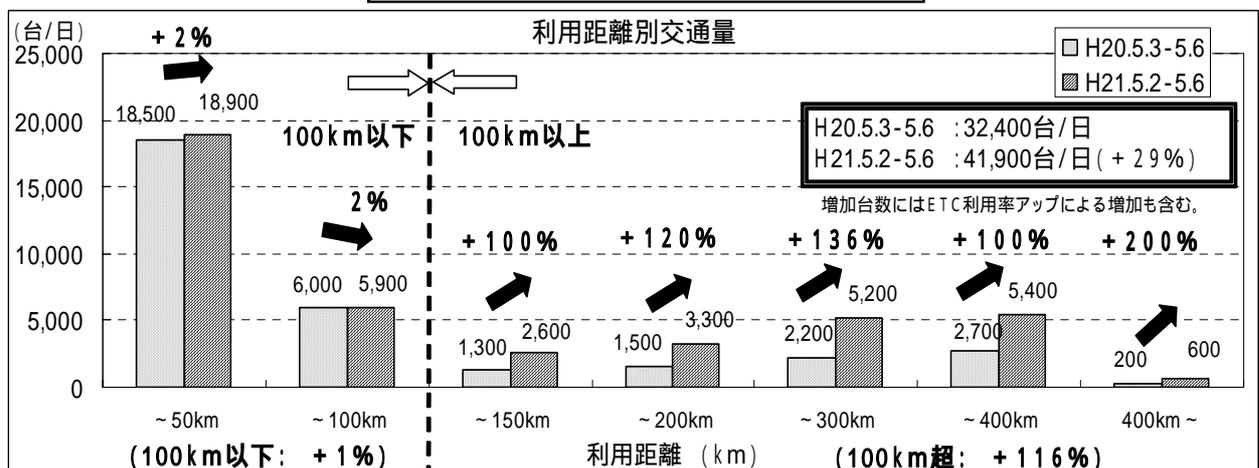
ETC小型車対象

東名 名古屋ICの出入交通を昨年同時期と比較し、平均利用距離の変化を把握。  
 【比較対象はETC小型車(軽自動車、普通自動車)】

平均利用距離が昨年に比べ割引直後(3.28(土)-29(日))は約24km増加、GWは約36km増加した。  
 また利用距離別では、100kmを超える利用が昨年のGWに比べ116%と大幅に増加した。



#### 利用距離別交通量の変化



<割引直後>    割引前: H20.3.29(土)~3.30(日)の平均、割引後: H21.3.28(土)~3.29(日)の平均  
 <GW>    割引前: H20.5.3(土)~5.6(火)の4連休平均、今年: H21.5.2(土)~5.6(水)の5連休の平均  
 データはETC小型車(軽自動車、普通自動車)で比較

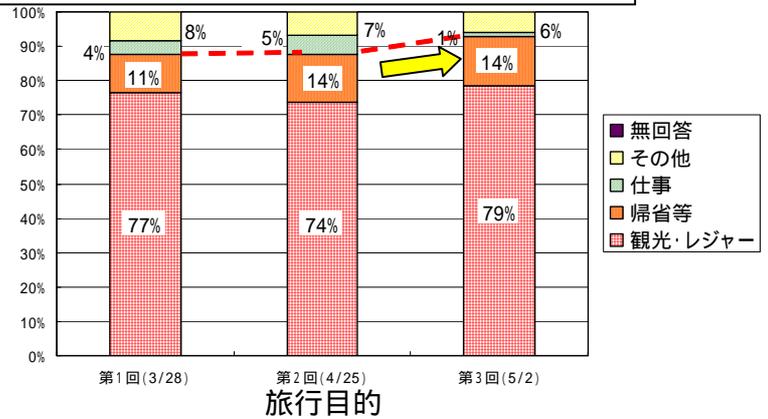
## (5) 休憩施設でのアンケート結果

休日特別割引開始後のお客様へ対面アンケート調査を3回実施しました。

【 第一回:開始直後(3月28日(土) N=1,344) 第二回:1ヵ月後(4月25日(土) N=1,201)  
第三回:GW中(5月2日(土)N=1,308)】

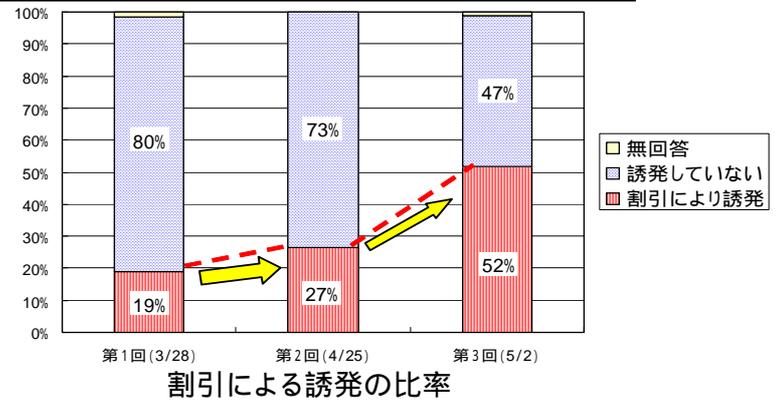
観光・帰省等の割合が増加し、業務交通割合が減少しています。

設問:  
「今回、高速道路を利用された目的をお  
教え下さい」



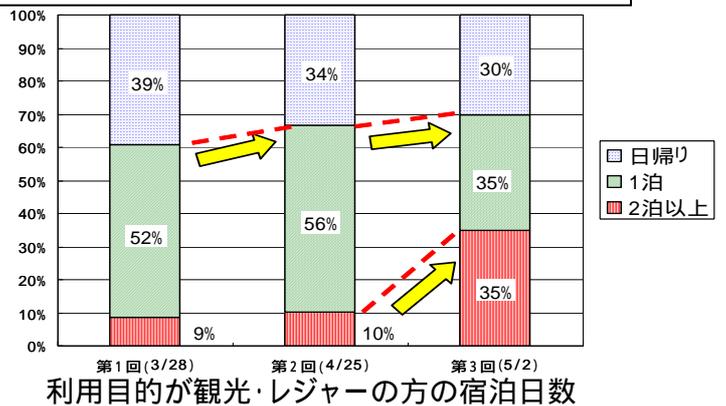
割引による新たな高速道路利用割合(誘発)は増加傾向です。

設問:  
「今回の休日特別割引(上限1,000円)が  
“おでかけ”のきっかけとなりましたか」



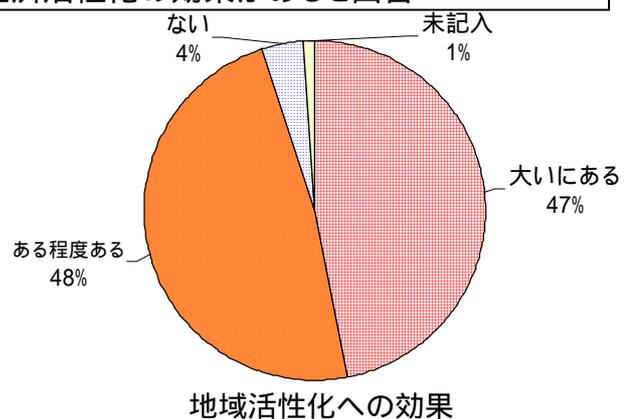
GW時期は2泊以上の旅行が大きく増加しています。

設問:  
「今回の旅行日数をお教えてください」



ほとんどのお客様が、今回の割引は、地域経済活性化の効果があると回答

設問:  
「今回の割引により、地域経済の活性化に  
効果があると思いますか」



## (6)「東名GW渋滞減らし隊キャンペーン」の結果

5月2日(土)から5月6日(水)までの5日間、GW期間中の観光レジャー等による東名高速(上り線)の交通混雑緩和を目的として、東名GW渋滞減らし隊キャンペーンを実施しました。

### <実施結果>

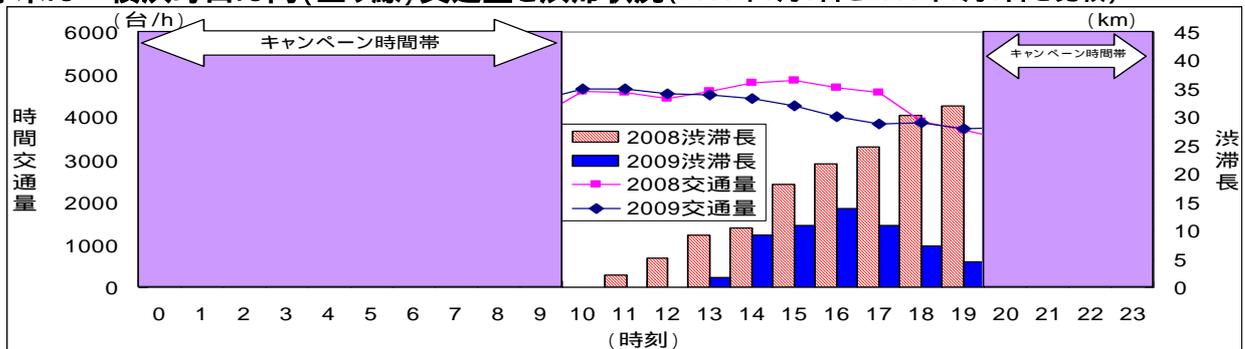
#### 交通量及び渋滞の状況(昨年との比較)

##### 渋滞発生前後の時間帯へ交通が分散

昨年同時期(2008年5月3日~5月6日の4日間)と比較して、東名GW渋滞減らし隊キャンペーンや休日特別割引等により、キャンペーン対象時間帯の交通量が7.1%増加し、渋滞発生前後の時間帯へ交通が分散されました。

日平均交通量が3.9%増加したにもかかわらず、大和TNを先頭とした渋滞の規模は、64.3%減少となりました。

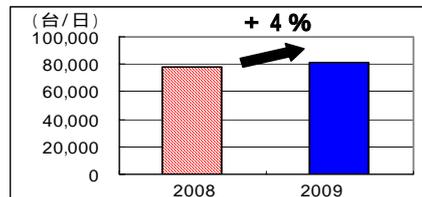
##### 厚木IC~横浜町田IC間(上り線)交通量と渋滞状況(2009年5月5日と2008年5月5日を比較)



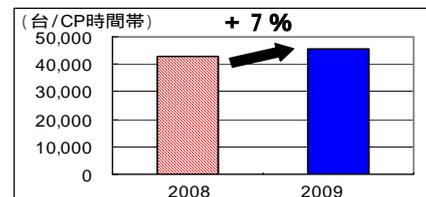
5月2日(土)~5月6日(水)

##### 交通量

日平均交通量(台/日)

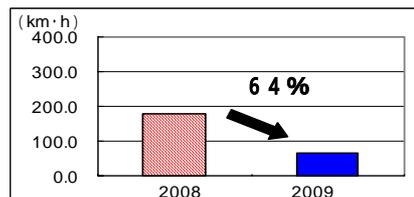


日平均キャンペーン対象時間帯累計交通量

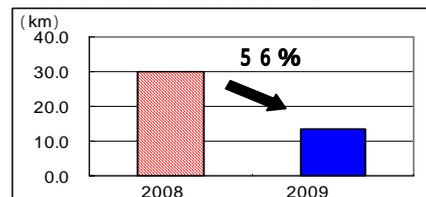


##### 渋滞状況

日平均渋滞量(km・時間)



日平均最大渋滞長(km)



- 1: 交通量は横浜町田~厚木間の上り線断面交通量(車両検知器データ)
- 2: キャンペーン対象時間帯は、5/2(土) 0時~14時及び20時~24時  
5/3(日)・4(月)・6(水) 0時~11時及び20時~24時  
5/5(火) 0時~10時及び20時~24時
- 3: 渋滞量とは渋滞の大きさを表す指標(渋滞長×渋滞時間)

### <キャンペーンの利用状況>

- ・キャンペーンの応募者数は5,638名
  - ・そのうち、キャンペーン対象区間・時間帯利用者は2,736名
  - ・キャンペーン対象区間・時間帯利用者2,736名に対しWebアンケートを実施し、1,617名から回答(回答率:59%)
- そのアンケート結果より渋滞の発生が予測された時間帯からシフトした方はキャンペーン対象区間利用者の内、約3割程度と推定。